



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 東福製粉株式会社
 コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野上 英一
 (氏名) 中路 節

TEL 092-781-1661

上場取引所 東 福

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	905	16.1	△12	—	△14	—	△14	—
23年9月期第1四半期	779	△22.3	4	△91.4	12	△78.2	12	△66.0

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 △28百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△1.50	—
23年9月期第1四半期	1.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	4,089	1,690	41.3	169.76
23年9月期	3,871	1,719	44.4	172.60

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,690百万円 23年9月期 1,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	—	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,680	6.3	△10	—	△12	—	1	—	0.10
通期	3,600	9.2	△42	—	△42	—	△13	—	△1.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	10,000,000 株	23年9月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	39,767 株	23年9月期	39,767 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	9,960,233 株	23年9月期1Q	9,961,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。平成24年2月9日付にて、四半期財務諸表に対する四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年10月1日～平成23年12月31日)における我が国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況は続いたものの、緩やかながら持ち直しの兆しが見られました。しかし現在も電力不足などの問題は解決しておらず、また急激な円高の進行や復興増税が見込まれることから、消費マインドの冷え込みが懸念され景気の下ぶれリスクは高まっております。

製粉業界におきましては、海外穀物相場の上昇傾向は一段落しましたが、政府売渡小麦価格は、昨年10月には約2%の値上げが行われました。

このような中、当社グループは新規顧客の開拓や既存取引先の拡充などの販売強化や製造効率の向上等に努めて参りましたが、消費自粛ムードの高まりや低価格志向が続く中、販売競争が一層激化する厳しい経営環境にありました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高で対前年同期比16.1%増の9億5百万円に、また営業損失で1千2百万円(前年同期営業利益4百万円)、経常損失で1千4百万円(同経常利益1千2百万円)、四半期純損失で1千4百万円(同四半期純利益1千2百万円)とそれぞれ減益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

<製粉事業>

製粉事業におきましては、主力の小麦粉は消費低迷及び低価格志向を背景とした厳しい販売競争の中、新規開拓等による販売強化に努め、また、一部大口需要先への販売数量の増加などがありましたので、売上高は対前年同期比1億3千3百万円増加し、6億2千7百万円(同27.0%増)となりました。副製品のふすまは、販売価格の低下等はありませんでしたが、生産数量の増加により販売数量が増加しましたので、売上高は対前年同期比1千2百万円増加し、4千8百万円(同32.8%増)となりました。また、ミックス粉の販売は、消費低迷など厳しい経営環境にありましたので、売上高は対前年同期比1百万円減少し、4千4百万円(同3.4%減)となりました。商品では、乾麺類のギフト商品が思うように伸びず、また米穀販売の不振などもあり売上高は対前年同期比1千3百万円減少し、1億7千4百万円(同7.0%減)となりました。不動産収入につきましては、不動産賃貸収入が昨年と同様に推移しましたので、売上高は前年とほぼ同額の6百万円(同6.7%増)となりました。不動産賃貸のうち、本年3月にテナントとの契約が終了する無洗米工場跡につきましては、早急に有効利用を図るべく具体策を検討中であります。

以上の結果、製粉事業の売上高は対前年同期比17.0%増の9億2百万円、営業利益は同4.4%減の6千1百万円となりました。

<不動産賃貸事業>

子会社で展開する不動産賃貸事業におきましては、テナントの入れ替えがあり、新たなテナント先が昨年12月からの開業だったため、売上高は対前年同期比67.9%減の2百万円、営業損失は1千3百万円(前年同期は営業利益3百万円)となりました。なお当社は、本年1月1日付で当社100%出資の連結子会社である株式会社トーフクを吸収合併いたしました。今後は、当社が直接不動産賃貸事業を行い業務の効率化を図って参ります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末(平成23年9月30日)に比べ2億1千8百万円増加し、40億8千9百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及びリース投資資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ2億4千6百万円増加し、23億9千9百万円となりました。この主な要因は、短期借入金及びリース投資債務が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2千8百万円減少し、16億9千万円となりました。この主な要因は、利益剰余金及び株式等評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災による影響も緩やかながら回復傾向にあります。電力不足や急激な円高の影響による個人消費の低迷や低価格競争の激化など景気の先行きは厳しいものと予想されます。当社におきましては、厳しい経営環境は続いておりますが、更なる販売強化や製造効率の向上に努め、またコスト削減を図って参りますので、平成23年11月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	356,777	300,461
受取手形及び売掛金	459,064	627,671
商品及び製品	212,493	230,311
原材料及び貯蔵品	570,960	561,067
その他	27,923	93,435
貸倒引当金	△2,845	△4,463
流動資産合計	1,624,373	1,808,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	763,500	747,998
機械装置及び運搬具(純額)	581,605	563,272
その他(純額)	136,031	135,342
有形固定資産合計	1,481,137	1,446,613
投資その他の資産		
投資有価証券	551,129	543,179
その他	351,522	427,811
貸倒引当金	△136,426	△136,099
投資その他の資産合計	766,226	834,891
固定資産合計	2,247,363	2,281,505
資産合計	3,871,737	4,089,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	314,583	340,650
短期借入金	1,008,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	199,836	195,312
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	5,106	1,052
賞与引当金	20,949	8,540
その他	83,071	97,075
流動負債合計	1,671,547	1,832,630
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	381,340	335,012
退職給付引当金	1,866	1,866
その他	57,810	189,685
固定負債合計	481,017	566,564
負債合計	2,152,564	2,399,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,179,069	1,164,118
自己株式	△3,452	△3,452
株主資本合計	1,743,493	1,728,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,321	△37,747
その他の包括利益累計額合計	△24,321	△37,747
純資産合計	1,719,172	1,690,795
負債純資産合計	3,871,737	4,089,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	779,669	905,121
売上原価	627,697	768,390
売上総利益	151,972	136,730
販売費及び一般管理費	147,874	149,515
営業利益又は営業損失(△)	4,097	△12,785
営業外収益		
受取利息	58	43
受取配当金	1,624	2,125
持分法による投資利益	15,068	4,924
その他	558	91
営業外収益合計	17,309	7,185
営業外費用		
支払利息	9,235	8,581
その他	50	231
営業外費用合計	9,286	8,812
経常利益又は経常損失(△)	12,120	△14,412
特別損失		
固定資産除却損	—	4,720
特別損失合計	—	4,720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	12,120	△19,132
法人税、住民税及び事業税	1,744	1,235
法人税等調整額	△2,577	△5,417
法人税等合計	△833	△4,181
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	12,954	△14,950
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,954	△14,950

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	12,954	△14,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,355	△13,488
持分法適用会社に対する持分相当額	231	62
その他の包括利益合計	14,586	△13,426
四半期包括利益	27,541	△28,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,541	△28,376

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	771,098	8,571	779,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	771,098	8,571	779,669
セグメント利益	63,846	3,122	66,969

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	66,969
全社費用(注)	△62,871
四半期連結損益計算書の営業利益	4,097

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当前第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	902,369	2,752	905,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	902,369	2,752	905,121
セグメント利益又は損失(△)	61,041	△13,466	47,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	47,574
全社費用(注)	△60,360
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△12,785

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
(当社と子会社との合併)

当社は、平成24年1月1日付で、当社の100%出資の連結子会社である株式会社トーフクを吸収合併いたしました。

(1) 被合併会社の名称及び事業の内容

- ① 名 称 株式会社トーフク
- ② 事業の内容 土地、建物及び一部設備等を賃貸

(2) 合併の目的

当社が直接賃貸することにより経営の効率化と競争力の強化並びに経営の透明性を図るため。

(3) 結合後企業の名称

東福製粉株式会社

(4) 合併比率及び合併交付金

当社の100%出資の連結子会社との合併であるため、本合併による新株式の発行及び資本金の増加並びに合併交付金の支払いはありません。

(5) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行います。